



さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第4号

ボランティア精神

総務担当 浪江 ○○

平成25年5月7日、シニア大学入学式から早いもので間もなく8年目を迎えます。当初、岩槻9期は76人の会員でスタート、平均年齢が70歳と聞いていたもので、来年度は喜寿の方が平均年齢となります。現在の会員数は4割減の45人に減りましたが、健康には充分留意して、とりあえず米寿までは頑張りましょう。

私は入学時から現在も総務担当として、私なりに頑張ってきました。入学当時はタブレットパソコン持参で授業を受けながら講義録を作成、役員会議等の準備、9期文化祭の準備など大変忙しい毎日でした。今思えば大変でしたが充実した日々でした。それは、皆さんからの労いの言葉が栄養となり、この頃から私の中で「ボランティア精神」の楽しさを認識するようになりました。

また、大したパソコン知識も無いのに、岩槻校7期、9期、10期、11期（現在は7期と9期のみ）及び2つの浦和パソコンクラブの指導を担当しています。その講座資料作りのため徹夜することもあります。喜んでくれる方が一人でもいれば今後とも継続するつもりです。

9期役員の方々も「皆ボランティア」です。今年度の文化祭演芸指導のMさんなどは、体調不良の状態でも参加され、衣装なども準備していただき感謝感謝です。また、会長、副会長にあっては、岩協及び連合会の会議なども多く大変です。来年度の役員人事案が間もなく決まりますが、役員だけでなく全員の協力をお願いいたします。

今後とも「9期ワンチームで仲良く」老後を楽しみましょう。

(9期会員数経過)

西暦年度	会員数
2013年度	76人
2014年度	60人
2015年度	59人
2016年度	55人
2017年度	51人
2018年度	46人
2019年度	45人
2020年度	?

オリンピック講座開催

11月26日、いよいよ間近に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックについて、担当の県民生活部の中川 晶さんをお迎えして埼玉県下で開催される各種目を中心にお話をいただいた。ご存知の通りサッカーが埼玉スタジアム、ゴルフが川越市、射撃が朝霞市とバスケットボールがさいたまスーパーアリーナといったところで開催される。中川さんからはアンバサダー認定書というものが配られ、東京2020オリンピック・パラリンピックが埼玉県で開催されることを出来るだけ多くの方に伝えることによってオリンピックを盛り上げる援助になるよう協力を要請された。一人でも多くの人たちが埼玉に来てくれることを願いたい。



チケットの入手が大変困難ではあるが、出来ればTVではなく本物を見てみたいものだ。

競技種目	開催場所	開催日
バスケットボール	さいたまスーパーアリーナ	7月25日～8月9日(決勝)
サッカー	埼玉スタジアム2002	7月25日～8月7日(決勝)
ゴルフ	霞が関カンツリー倶楽部	7月30日～8月8日(決勝)
射撃 ライフル クレー	陸上自衛隊朝霞訓練場	7月25日～8月1日(決勝)

§ 史跡めぐりクラブ §

令和元年11月19日(火)

秩父宝登山神社参拝と長瀨の紅葉

11月19日大宮駅午前9時40分集合、JR快速アーバンに乗車、熊谷駅にて秩父鉄道に乗り換え、長瀨駅に到着、早速、駅周辺にて昼食となりました。

素晴らしい好天にめぐまれ、汗ばむほどでした。二の鳥居から本殿・藤谷淵神社・玉泉寺をめぐり見学終了、長瀨石畳・もみじ公園に、「紅葉の紅葉」・「银杏の黄葉」と素敵でした。帰路、高崎線人身事故のため電車が途中で運休になるというハプニングがあり、石原駅から二駅のウォーキングで熊谷駅まで行き新幹線で帰りました。まだまだ歩けるメンバーみな健脚なので安心。史跡めぐりでは初めての出来事でした。



§ 史跡めぐりクラブ §

令和元年12月4日(水)

小石川後楽園の『紅葉狩り』と豆腐料理『根岸笹乃雪』会食

春に新緑の庭園美を觀賞し、この時、ガイドさんが秋の紅葉を絶賛されていたので、是非「紅葉」の時期にと計画された、『紅葉狩り』は、散策するに従い、庭園の素晴らしさが目を楽しませてくれました。

風景を愛でた後は、美味しいものをと、元禄四年創業の歴史ある豆腐料理「根岸笹乃雪」で会食、珍しい豆腐の懐石料理に舌つつみを打ちながら、一献をかたむけての談笑で、疲れを癒し、爽やかな気持ちで今回の特別企画は終了となりました。



「ありがとう」という言葉についての一考察

私どもは日頃何気なく「ありがとう」という言葉を口にします。漢字で書くと「有難う」となります。この意味は読んで字のごとしの「滅多にない・珍しくて貴重だ」という意味の「有り難し」という意味だそうです。この「有り難し」とか「あり難き」といった言葉の歴史はとても古く、ご存知平安時代に書かれた「枕草子」に「ありがたきもの」という文を読まれたことと思います。これは「滅多にない」という本来の意味に近く「この世にあるのが難しい」という意味で使われております。

それではこの時代に我々が日常使っている「ありがとう」という言葉はどのような表現で使われていたかと言えば、

「かたじけない」というように言われていたそうです。これは平安時代の書物である源氏物語や竹取物語などで使われている表現だそうです。潜在能力研究者である小林正観さんは次のように言っておられます。

「現在ある言葉の中で、最高に影響を持った言葉は、「ありがとう」の五文字でしょう」と・・・

会員によるスピーチ

恒例になりつつある12月の行事として「会員によるスピーチ」が開催された。昨年は中澤会員他2名から三者三様の経験談をしていただいたが、今年度は二人の会員から話を聞くことが出来た。次回の卓話者のスピーチが大変楽しみである。

前沢〇〇会員による「水のお話」

永年水道事業に携わっておられた経験から、「水」にまつわる様々なお話を伺うことが出来てこれまで何気なく利用していた「水」の価値というものを改めて考えることが出来た。地球上の水は14億 K m^3 ありながら、97%が海水で真水は3%しかなく、そのうち人間が利用できるのは僅か0.01%とのこと。水道代は1 m^3 僅か55円で如何に安い「水」を提供してくれているのが判ります。私どもの埼玉県は昔は生活用水は地下水で賄っていたが、水道という便利なものが出来たおかげで洗濯・風呂・トイレなど新しい水が必要になり、河川からの水の供給が必要になってきたため、埼玉県は利根川・荒川などの河川から「水」を供給しなくてはならなくなったそうである。前沢会員からは埼玉県とさいたま市の水道局の歩みとか利根川と荒川の改修事業に関する話題など災害に対する心得など身近に起こることが考えられる水害対策などの話を聞くことが出来た。あらためて「水」の大切さを考えさせられるひと時となった。



浪江〇〇会員による「私の履歴書」 本人談話

私は当初、仕事に関する「防災」について発表するつもりでしたが、仕事絡みの内容ばかりでは、次に発表する方、特に女性の発表者が出なくなると思い、私の人生の前半について披露しました。

発表内容は、時間が30分と短いため、誕生から25歳までの人生について、PowerPointの画像32枚にまとめました。まずは、誕生場所、両親や兄弟について、以前作成した家系図を示し説明、誕生間もない写真や「臍の緒」は、数回の引っ越しの際に紛失し、一番若い写真が、1歳過ぎの母親との写真でした。続いて小学校から中学、高校、そして就職し、幾度か職を変え一生の仕事である消防士になるまでの人生を発表しました。



今回の発表資料作りを通じ、懐かしい写真を見る機会ができ、当時の楽しい思い出や瀕死の重傷を負った交通事故などの大変なことを思い出し、私なりに波乱万丈な人生の前半であったことを思い出しました。

今回の発表を契機に、私の72年間の人生履歴の整理が始まり、私の葬儀は、「会食しながら、私の肉声でのスライドショーを上映」する遺言を検討しています。

忘年会

恒例の令和元年を締めくくる忘年会が新都心合同庁舎31階の「ビューテラス」で開催。今回は5班が事前に幾度となく検討を重ねられ場所といい企画内容といい大いに盛り上がりのある最終例会となった。毎年、会員手作りの手芸品で参加者をもてなして頂ける気持ちには感謝に耐えない。会員一人一人のスピーチや豪華景品のビンゴ大会など時を忘れて素敵なお食事を楽しむことが出来た。

来年はどんな企画が待っているのか今から楽しみである。さいたま市の夜景全貌が楽しめるこの場所は他にはなかなかないので家族連れでもいかがですか。



瀧田会長の挨拶



大いに飲んで大いに食べて



「来年も頑張ろう」の手拍子

§ 史跡めぐりクラブ § 与野七福神

令和2年新春7日、16名の会員が榎木会員の案内で武州与野七福神巡りを楽しんだ。新都心からバスで最初の福祿寿を祭る氷川神社へ。最初は雲が多かったが歩くにつれてだんだんと晴れ間も増え、コートが邪魔になるほどの天候が回復。弁財天を祭る御嶽社で記念撮影。昔は弁財天の「財」は「才」で才能の神様だったそうで芸能人などが参拝に訪れたそうであっが、近年は「財」が多く用いられるようになったとのこと。七福神の由来なども調べてみると面白い発見があるかも。大宮の駅中で楽しい昼食をとって解散となった。



弁財天の御嶽社で記念撮影



毘沙門天の鈴谷大堂



駅中で楽しい食事会

吹き矢教室

1月21日、石塚会員のお世話で第2回吹き矢教室を開催。大勢の会員が腕(?)を競った。5本ずつ4回6m先の的をめがけて命がけて吹くが、途中で矢が失速するやら、的を大きく外すやら思った通りには難しい。最終的に渋谷・浪江・関谷会員が34点で同点のため3人によるプレーオフの結果、男性をしりめに渋谷会員が優勝。女性ながら天晴であった。

「来年も是非」との声が多く今から楽しみである。



吹き矢は健康にいいらしい

優勝した渋谷さん

SKIP シティー体験

2月8日、参加者27名で川口のSKIPシティーに遠征した。映像ミュージアムでキャスターになったり、アナウンサー体験など日頃経験できない魅力を堪能。午後からはプラネタリウムを鑑賞。宇宙の誕生から現在までにいたる天文学の一端を味わうことが出来た。

川口市立科学館では40種もある実験体験展示室では童心に帰って色々な不思議体験を楽しんでいた。ある会員からは「前から来たかった。早速孫たちと一緒に来たい」という。我々の年齢層には些かもの足りない場面も感じられたがこれも愛嬌だったかも。4時過ぎに大宮で解散後帰路についた。



映像ミュージアムにて



お天気キャスター気取りで?



SKIP シティー前にて